



# もりの手紙

mo ri no te ga mi



NO 290 / 2021

森にこうよ!  
もりメイト倶楽部  
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

fax. 082-221-1080

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com

大雨被災地での  
復旧 復興が一日  
でも早くなされ  
ますように!

## contents

★9月例会案内：9月26日

「神の倉山公園」整備

..... 2

★8月例会報告：松崎

・「ゆとりの森」災害支援&整備

..... 3

★8月里山部会報告：岩田

・新リレーコーナー

「安全について」：藤原

..... 4

★8月クラフト部会報告：佐藤

もりメイトキッズより：佐々木

..... 5

★山の日に参加して：堺&見勢井

..... 6

★「この人」あり：富田(4班)

・今月のひと枝：ミヤマママコナ

..... 7

★9月・各部の活動予定他

..... 8



炊飯棟の土砂を集め掻き出す。クローラードンプが活躍！ゆとりの森例会にて。

### 私たちも 森づくりを応援しています。

- ◆中外工業株式会社
- ◆ゆめみらい株式会社
- ◆こだまクリニック
- ◆イオングループ
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲
- ◆株式会社東和テクノロジー
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆一般財団法人セブン-イレブン記念財団
- ◆公益社団法人広島県みどり推進機構

《 ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略 》

もりメイト倶楽部  
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

#### 『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

みんなで森づくり：健康で生き生きした森を育てます。

森を育てる技術を磨く：森づくりを学び、日々実践・研鑽。

森から学ぶ：人と森との関わりを学びます。

森の恵みを伝える：恵みを利活用し、拡げる活動。

#### 例会

倶楽部のメイン行事（原則第4日曜日）  
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！

全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。

案内



## 9月例会 = 地域貢献プロジェクト =



### 『神ノ倉山公園整備』《担当：5班》

～当日の作業は昨年に引き続き、ハンカイソウ群生地  
一帯の草刈りと、周辺の雑木伐採を予定しています～



ハンカイソウ

◆日 時：9月26日（第4日曜）9時半～少雨決行

※担当班のメンバー＆リーダーは8時半までに現場へ集合して下さい。

◆会 場：【神の倉山】ハンカイソウ群生地看板前集合

※場所の分からない方は、セブンイレブン白木三田店に  
8時30分に集合して下さい。

◆持参物：山の道具・弁当・水筒・名札・

※チェーンソー、草刈り機のある方は（マスクも忘れずに！）  
申し込み時に班長まで連絡下さい。

◆申込み：9月20日（月）までに各班長へ連絡。

※新入会員、賛助会員その他参加希望の方は  
事務局へ電話かメールでご連絡下さい

090-6419-7531 : [info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)



ハンカイソウ群生地。昨年の草刈り作業の様子。



標高 561 社の神ノ倉山。朝の雲海もすばらしい！

#### ～神ノ倉山とりもみメイト倶楽部～

神の倉山は、地元にお住まいになられていた故人の谷岡さん所有の山です。戦後、平和を願いみんなの憩いの場にしようと、私財を投げ打って、山を整備し、コツコツと桜やモミジやフジを植え今に至っています。

この故谷岡さんの遺志を受け継ぎ、神の倉山の整備に長年奮闘する地元の加藤さんを応援しようと、倶楽部では長きに渡り交流し、大径木等の伐採や、サクラなどの植樹や草刈りに毎年参加をしてきました。

今回は昨年に引き続き、貴重なハンカイソウ群生地の草刈り、展望をよくするための雑木の伐採を行います。季節ごとに美しい景観を楽しめる「市民の憩いの森づくり」に参加し、力を出し合い、みんなで一緒に作っていきましょう！是非、ご参加ください。



自然の凄まじさを実感、臨機応変に作業。みんなが集う「ゆとりの森」再現目指して!!  
 ~当初の計画だった森林整備は、後日、有志で行う事に。会報にてご案内致します。是非ご参加下さい~



今回の例会の場所となったゆとりの森は、私がもりメイト倶楽部に入会して初めて参加した例会の場所でもあり、この場にまた来ることをとても楽しみにしていました。

12日頃から降り続いた大雨で、ゆとりの森も被害を受けた話は耳にしていたのですが、当日現地に到着し、土砂が流れ込んでいたり流木がたくさんあったりという状況を実際に目の当たりにして、自然の恐ろしさを改めて実感しました。それと同時に、この状況を少しでも良くして、また元のゆとりの森の状態に戻ってほしいと強く思いました。

当初の予定は、新入会員を歓迎するwelcome例会とし、山頂付近の伐木と山頂に向かう途中の階段作りをする中で、技術を教え合う事を目的とする内容でした。しかし、急遽内容を変更、災害支援をメインとして実施する事となりました。当日は数名の欠席もありましたが、山本明芳さんと吉村智宏さんが初めて参加され、作業を共にしました。

雨が強まったり弱まったりを繰り返す中、朝のミーティングが始まり、山本理事長から今回の例会を開催するに至るまでの経緯などのお話があり、藤原班長から作業内容の説明がありました。

**A班**は登山道入り口付近の階段作り。**B班**は料理担当と炊飯棟床まで上がった土砂の掻き出し。**C班**と**E班**は、池に流れ込んだ流木の撤去。**D班**は山頂付近の階段作りと、5グループに別れ作業をしました。

流木や土砂は重機やクローラードンプ(林内作業車)、チェーンソーなどの活躍もあり、きれいに撤去することができました。階段作りの方は、雨で斜面が滑りやすく苦労されたようですが、事故なく無事に終えることができました。

午前中で作業を終了とし、お昼はオーナーの沖野さんのご厚意により羽釜で炊き上げた「おにぎり」と「しし汁」「しし肉」をいただきました。ひと仕事した後のしし汁は最高に美味しかったです。

終わりのミーティングでは、グループごとに反省会を持った後、作業報告を出し合いました。

沖野さんからは、『このような状況の中で作業していただきほんとにありがとうございます。これからもよろしく願います』と、ご挨拶いただきました。初参加の吉村さんからは『また次回も森に携わる活動に参加したい』と、前向きな発言もありました。

今回の例会は断続的に雨の降る中、作業内容の変更など指示が二転三転する場面がありましたが、その中でもお互いに意見を出し合い、最適な方法を選択しながら、臨機応変に作業を進められていたのが、非常に良かったと感じました。

私自身も今回の経験を今後の活動に活かしていきたいと思えます。



1)なぎ倒された木々と岩で埋まるグランドゴルフ場 2)メイン施設の炊飯棟の土砂を掻き出す 3)クローラードンプと一輪車で土砂を運搬。  
 4)土砂で埋もれた水車小屋 5)作業車で池に流れた流木を撤去 6)遊歩道に階段設置 7)夏はプールになっていた被災前の池の姿



竹炭の火入れを行う北田さん

## ～年2回の地域貢献草刈りに参加&竹炭作製他整備を行う～

里山部会では、地域貢献活動『水路清掃及び防火水槽の周りの草刈り』を毎年4月と8月の年二回行っております。今回は、いつもの活動と併せて地域の皆さんと共にこれらの作業も行いました。

防火水槽周りの草刈りには、北野さん・鎌田さん、水路清掃に佐藤さん・松崎さん・吉村さんがそれぞれ作業に付きまして。これまでは、地元の人が高齢で山に登れないので、水路清掃に人数を増やしていましたが、草刈り班も手薄になりつつあり、次回からは、草刈り隊の要員増の必要が出てきそうです。ご協力よろしくお願いします。

里山部会では、お盆を迎えるに当たり、小川フィールドにある墓地周りと駐車場の草刈り、竹炭の作製を行いました。竹炭は朝7時から火入れをし、次回は窯出しの予定です。その他、暑さ雨除け対策用テントの開閉装置の改良や、先日の大雨で崩れた薪棚の場所を移動しました。作業は、炭焼を除き午前中で終了。暑い中、本当にお疲れさまでした。

次回の里山部会は、9月12(日)妙國寺裏『スクウスクウの森』で例会の準備作業を行います。今回の里山部会は、岩田不在で、富安さんに取りまとめをお願いしました。部長の私(岩田)は、この日、7月から開催されている「耕作放棄地の復活プロジェクト」に参加していました。活動内容は、耕作放棄地の草刈りをして、再び耕作できるようにするプラン。ソバを栽培・収穫し、ソバを打ち、食べるまでの一連の流れを、プロに習いながら行うものです。初回は高さ2mほどの雑草の草刈り及び除去、2回目の今回はソバの種蒔きをしました。また機会があれば報告したいと思います。

また機会があれば報告したいと思います。

### 新コーナー

### あんぜん

### 安全

### あんぜん

昨年まで5回に渡り『安全の確保 mini』のコラムを掲載してきましたが、今回から、さらに安全を守り・高め・共有できるように、引き続き「安全」をテーマに取り組んでいきたいと思ひます。

初回は、だれもが遭遇するかもしれない“ヒヤリハット”についての捉え方、報告の仕方を、3班の班長・藤原さんが取り上げて下さいました。なお、このコーナーは、リレー式で、誰もが参加できます。ぜひ参加して下さい！！例会や部会などでの気付きなど投稿お待ちしております。



## 【ヒヤリハットの報告の仕方について】

活動中、ヒヤリハットを体験したり、近くで目撃することがあると思ひます。それを身近な人と共有し、記録に残してより多くの人に伝えることは、安全を第一とするにはとても大切です。

**基本ルール** 1) 正確な情報を書く。 2) 全容が把握出来る。 3) 誰が読んでも理解出来る。

4) 事故発生後すぐに書く。

**ポイント** ①いつ、どこで、誰が、何を、どのようにを明記する。 ②箇条書にする。 ③客観的な視点で。

④難解な言葉を使わない。

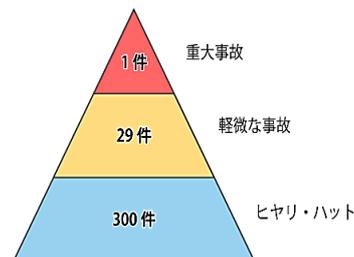
**客観性**で大事なこと。言い訳や誰かのせいにするような書き方はしない。責任追及のためではなく、起こった事象を正しく知り、再発防止に取り組むため、個人

## 3班藤原満男

の主張は置いておき、まずは客観的に事実を伝える。

ヒヤリハットが起こった背景や原因を推察して書く場合には、事実と見解が区別できるように分けて書くこと判り易い。またこれは書かなくていいかな?と思ひった些細な内容でも、個人で判断せずに記録に残しておく。

### ハインリッヒの法則



※労働災害における経験則の一つ。1つの重大事故の背後には29の軽微な事故があり、その背景には300の異常(ヒヤリ・ハット)が存在するというもの。「1:29:300の法則」とも呼ばれ事故発生防止につながる安全衛生の知識として紹介されている。

★ 8月のクラフト部会は猛暑の中、多湿な屋外で湯来町・松波邸での製材、大雨で被災された鹿ヶ谷山本基地周辺の土石流復旧支援、クラフト出展準備を行いました。★

1) 湯来町の「松波邸・<sup>たきび</sup>焚火学会」フィールドにて、間伐材の製材、鋸刃のアサリ、目立てを行う。

8年前に購入した帯鋸製材機の点検方法や整備（アサリ・目立て）を、各諸先輩会員より指導を受ける。

\* 冬場の製材に「挽き曲り」が起きてしまい、原因不明となっていたが、木材の柔らかい年輪部が凍結し帯鋸刃に強・弱の負荷となり、鋸刃がのめり込むことで製材が曲ってしまうと判明。対策として、「鋸刃のアサリ+目立て」を行った。結果綺麗な板材ができました！（冬と夏のアサリ巾を微調整 3mm~2mm）

\* 「焚火学会」でこの製材機を使用したい申し出があり、取り扱いの説明を行う。

・・・活用していただく事で機械も大喜びと思います！

2) 大雨により山本基地へのアクセス道路が倒壊。土石流も発生。

\* 8月21日（土）、部員8名により土石流による倒木の片付けや道路土砂を「みどり会」様と協働で仮復旧をお行いました。山本基地へのアクセス道路が倒壊しており、当面は車を途中で駐車し作業場まで徒歩となります。作業中、終了後の参加部員の活力と笑顔に元気をもらいました。また、「みどり会」様より“生しいたけ”を頂き、家路に着いてからバター炒めにてのビール、最高に美味しかったです。

《当基地は鹿ヶ谷公園内「NPO 法人里山環境保全みどり会」様のご好意により敷地の一角を使用させて頂いています。》



あさり治具



目立て治具



製材作業



道路土砂除去

※ 治具とは？：加工や組立ての際、部品や工具を案内し位置決めするとともに固定する補助具のこと。



磯貝さん考案  
人気のフクロウ

## レギュラー部員紹介します

ホンダOBの磯貝さん。育成講座7期生79歳。倶楽部在籍20年の大先輩！前・本廣クラフト部会長の前に、部会長を長年に渡りお引き受け下さり、発足当初からのメンバー。作品のアイデアの源は何か、『日頃より新聞・チラシ・雑誌・など情報を集め、課題に対し脳細胞の“ひらめき”



を待ち試作。』私たちの日頃の生活に必要な思考回路であり参考となります。最近では年齢的に

知力・気力はあるが体力が衰え、後継者への伝承を心がけておられます。我々はまだまだスキル未熟です。健康でご指導、伝承よろしくお祈いします。\* 9月クラフト部会は10月出展3イベントの作品部材作りを行います。



## 第2回もりメイトキッズ延期のお知らせ 一回目は10月3日(日)に開催一

8月9日に開催予定の第2回もりメイトキッズは、当日、台風接近のため延期となりました。予定しておりました8月29日は、残念ながら緊急事態宣言発令により再度延期。スタッフ協議の結果、今度こそはと10月3日を第2回目として行うこととなりました。ちなみに10月3日は第3回目を予定しておりましたが、別の日にて調整いたしております。決まりましたら紙面、HPにてお知らせします。

# ひろしま「山の日」県民の集いに参加してきました。

8月8日(日) 広島遊学の森(広島森林公園) 鷹の条山

テーマ:「さくら咲く森づくり」桜救出大作戦

報告: 堺 次朗



サクラに沢山の光が当たるように整備



ソーシャルディスタンスで行われた開会式

参加者全員が定刻、森林公園管理棟横のテラスに集合。もりメイト倶楽部山本理事長の司会により開会式が行われました。見勢井顧問から「山の日」の発足の経緯や意義についての説明の後、本日の整備作業のメインテーマである『桜の救出作戦』についての説明も合わせて行われました。

続いて広島市からの来賓の挨拶の後、担当するエリアごとに班分けを行い、作業場所は登山用のレール沿いの地域で、山の上からC班、B班、A班の順で担当することになりました。

私はC班になり、一般参加の親子連れが参加されていたので、安全を考え小径木の除伐を中心に行いました。午前中の2時間余りの作業でしたが、担当エリアは、作業前に比べて見違えるほど明るい森になりました。B班担当のエリアには直径50センチくらいのコナラの木を伐倒する必要がありましたが、熟練のもりメイト倶楽部の絶妙のワイヤーワークで目標位置に正確に伐倒することができました。伐倒木の整理は、閉会式後、もりメイト倶楽部の有志により行われました。ご苦労さまでした。

猛暑の中での作業終了後、主催者より各人にアイスクリームが無償で提供され参加者一同大感謝！ありがとうございました。

山の日 の整備作業には子ども2名を含め22名の参加がありました。当初は6名しか応募が無く、メールや電話で連絡して参加を募ったところ、沢山の方々が応えて下さりご参加いただきました。

伐倒予定は「ナラ枯れ」被害となっている「カシノナガキクイムシ」の入った50cm以上のコナラ。

このコナラは、枝が十分に張っており、準備作業・伐倒・事後処理と大変苦労しましたが、富田さんをリーダーとする沢山の方々に協力いただき、午後からも6名で作業を行ない、当初の目的を達成することができました。本当に有難うございました。

「森林公園からは人集め・技術力・統率力が素晴らしい」と、お礼の言葉をいただきました。《見勢井記》



後輩にチェーンソーを指導する富田さん



子ども達も一生懸命木を伐り整備しました。



今年度から監事として役員に加わった富田さん。また、4班の班長として例会計画から実施に至るまでのきめ細かさ、リーダーシップの巧みさは極め付き。倶楽部の事業に大いに力を発揮して下さいます。

写真は8月「ゆとりの森例会」にて

もりメイト育成講座は16期生(2012年3月終了)。応募の動機は『サラリーマン生活の中、趣味といえるものがなく、何か身に付くことがないかと思っていた時、新聞で育成講座の募集が目にとまり応募しました。それに、山に行けばタケノコやキノコなど自然の恵みがいただけるのでは、と、ちょっぴり不純な思いも(笑)。でも、受講中に、安易に持ち帰ってはならないと一喝された苦い記憶も！！！！(笑)』

例会を担っておられる富田班長の思いは、『一昨年から副班長を経て班長を務めています。経験が浅く微力ですが、新旧含め多くの方に、気軽に参加して楽しんでいただける例会となるよう尽くして行きたいと思っています。皆さんのお力添えを得て務めていきますので、今後ともご指導の程よろしくお願い致します。』

**活動に関して心に残った事は？** 『子どもの木工クラフトを指導させて頂いた時、子ども達の喜ぶ笑顔と感謝の言葉に胸が熱くなりました。苦い経験もあります。伐倒作業中、安全監視員でありながら判断と連携ミスで、ヒヤリハットになった事。その後は事前準備と安全意識を忘れぬように心がけています。』

**趣味などお聞かせください。** 『趣味ではないですがカーブの応援(テレビの前で)。大きな声で(辛口応援)“お前がダメなら代わって俺が投げてやる～！打ってやる～！バカヤロ～何してる！”と、檄を飛ばしています。(後ろから妻の声・・・あんたなら出来るんネ・・・?)』

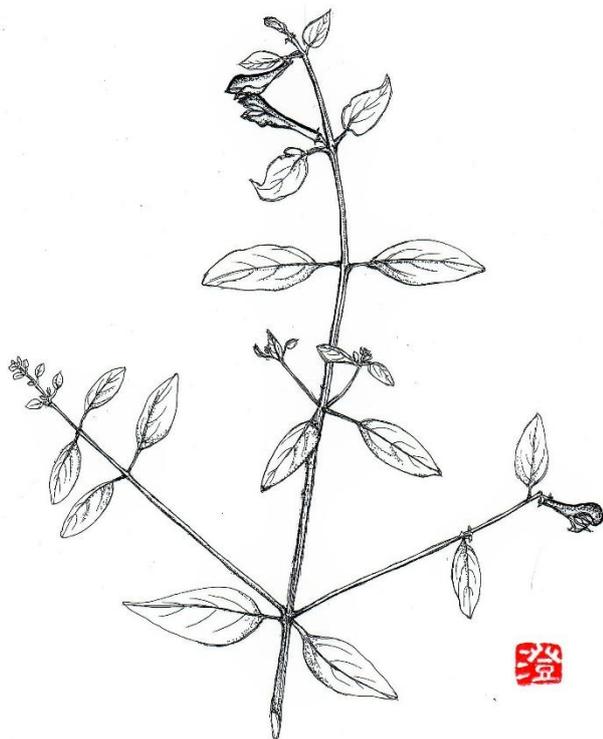
**その他何でも？** 『先輩に感謝(故 沼田陽治氏)！育成講座の指導者として、沢山の事を教わりました。終了時に「今まで学んだ事を今後活かさないと忘れてしまうし、もったいない」と、強く当倶楽部へ誘って頂き、いま、改めて色々な事が学べている事に本当に感謝しています。』

今日のひと枝

原田 澄

ミヤマママコナ (深山飯子菜)

＜ハマウツボ科・ママコナ属＞



北海道から本州の深山の林縁や草地に生え、高さ20～50㎝になる1年草。自分で根を下ろして育つが、イネ科やカヤツリグサ科の植物の根に寄生して生長する半寄生植物。ママコナに似るが、花の色が濃く花喉の両側に黄色の<sup>まだら</sup>斑がある。また、ママコナは花の付け根にある<sup>ほう</sup>苞がとげ状になるが、ミヤマママコナの苞にはとげがない。花は紅紫色で筒状。花の下唇に2個のこぶ状の隆起があり、名の由来はこれを飯粒に見立てたという説がある。花期は8～9月。・・・▼ゆとりの森で出会ったミヤマママコナ。山へ続く遊歩道の木々の下で、ひっそり咲いていた。控えめな赤紫の小さな花が何とも愛おしい。下では濁流が渦を巻いていたであろうに。▼晩夏から初秋へ移ろう季節。澄み渡る空に月明りが冴え、虫の音に耳を澄まして時を過ごす。明けない夜はない。

～北広島町南方ゆとりの森例会にて 2021・8～

